

第9回 SK 胃瘻セミナー総括

いつもは、セミナー後 1 週間前後のアップを心がけているのですが、遅くなり申し訳ありません。

今回は、胃瘻を造らなくても大事な口腔ケアについての話でした。参加者のアンケートでは、わかっているんだけど・・・という答えが多く、なかなか大変な実態を実感しました。

まず、最初に**食事に潜む危険性**の話があり、年間 1 万人以上の死亡があること、おもちゃだけでなく何でも危ない、特に嚥下機能の弱っている人は気をつけないといけないという導入があり、**誤嚥性肺炎の恐ろしさ**を知りました。

そして、意外とちゃんと子どもたちの口の中を観察できていないことも知りました。

ブラッシングの方法、デバイスについても質問が飛び、いつもより活発でした。不明な点は、どしどし歯科の加藤先生にご質問下さい。連絡の取りにくい方は、胃瘻セミナーメールアドレス kodomo_irou@yahoo.co.jp まで。

口腔ケアは、非常に大切ですので、胃瘻を造っていないかたにも、次回の口腔ケアの話の時はお誘い下さい。(1年に1回程度、この時期に行えればと思っています。)

最初の長江先生の話も、はじめの聴講の方には、役に立つお話しで今回は渡辺の出番はありませんでした。

渡辺はといいますと、昨年行った特別支援学校での昼食前後の心拍の測定で、胃瘻患者さんの心拍の上昇が顕著な方が多いという、ダンピング症候群を疑わず結果について話しました。しかしながら、時間が超過していましたため、十分に説明できませんでした。

2月25-26日に千葉・幕張で行われました第25回日本静脈経腸栄養学会でパネルディスカッションに選ばれ、話してきたので、資料をメールで配布したいと思います。次回のセミナーでも話します。ご協力下さった特別支援学校の先生、児童、生徒さんありがとうございました。やっぱりミキサー食はよいようです。

次回は、5月半ばを予定しています。6月には、外科の先生による『気道の手術(仮題)』も用意をお願いしていますので、ご期待下さい。

ホームページのチェック
(<http://www.shizuoka-pho.jp/byouin/by-730/kamoku/shinkei/oshirase.htm>
静岡こども病院のHPから、診療科案内-神経科-お知らせとお進み下さい。)

2010年3月2日 SK 胃瘻セミナー 渡邊誠司